NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞活用を通して、自分の考えを深め、広げる子どもの育成をめざして

2．学校名

愛知県安城市立桜井小学校

3．実践者名（代表者名）

安藤 法子

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　32人

6．単元（本時の学習課題）名

私のニュースをもとに自分の考えを発信しよう

7．目標（狙い）

みんなに知らせたい記事を選び、構成や感想などを工夫して「私のニュース」にまとめ、それを活用してやさしい心や助け合いについて意見を交換することができる。

8．評価の視点

・記事選びや構成などを工夫して「私のニュース」を作ることができたか。
・記事を生かして考えを出し、やさしさや助け合いについて進んで 話し合うことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

・新聞活用を通して、自分の考えを持ち、地域や友だちに伝える力を育てよう
この計画（36時間）で、切りぬき新聞作りのステップの一つとして位置づける。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（全7時間扱い）
①気に入った記事や知らせたいニュースを集め、そこから記事を選択する。(1時間)
※記事選びは自由に行う。一人でも二人でも記事選び次第でよいとする。
②新聞の作り方の基本を国語と関連づけて身につける。(1時間)
※工夫してあることを発表させ、意欲づけにしていく。
③基本をもとに「私のニュース」を作る。（3時間）
※見出しやリードをよく考え、レイアウトの工夫をしてから、貼り付けや作成に取りかかるよう話す。
④みんなにやさしさを伝えるニュースを選び、その記事のいいところを見つけて話し合う。（2時間）
※パラリンピックやボランティアの記事をもとに私のニュースを作った子の発表を聞いて感想をカードにまとめ、話し合いにのぞんだ。総合学習「やさしさの輪を桜井に広げよう」とつなげて、やさしさについての思いを深めさせる。友だちの思いや発想を受け止め、自分の気持ちを素直に出していくように話し合いを進める。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

多くの子どもが「いろんなニュースがあって読んでいると楽しくなった。」「学びをやってから、大事なことをまとめて書いたり、話したりすることがだんだんできるようになった。」などの振り返りを書いていた。全体的に記事の活用が児童たちの学びを支え、これからの意欲につながったと思う。

12．成果と課題

「いろんな話し合いができて楽しい。」と思う子どもたちがふえた。また、「新聞は私の大切なものになった。何回も読めるから、自分の考えをしっかりとまとめられる。」というように新聞が身近になってきた。しかし、一部の子どもたちは読むことに抵抗を感じ、写真や見出しを読むことしかできていない。見方や読み方の基本を繰り返し教えたり、大切な記事を取り上げて、学級全員で話し合ったり、子どもたちの発想を取り入れて楽しいゲーム作りや教科学習とのタイアップなどを進めたりしていきたい。何よりも新聞活用が生活の中に生きるように、工夫していきたいと考えている。